

京都労山

2026年1月号

No. 391

発行日
2025年12月15日

発行所: 京都府勤労者山岳連盟 発行者: 中村好夫 編集製作: 機関誌委員会 発行: 毎月第3月曜日

所在地: ☎.616-8042 京都市右京区花園伊町4 ☎.075-275-0453 FAX.075-468-1793

【ホームページアドレス】 <http://www.dab.hi-ho.ne.jp/kyoto-rozan>



京都府勤労者山岳連盟

京都労山『六つの合い言葉』

- (一) 私達は、山を勤労者の身近なものにする為に力を合わせよう。
- (二) 私達は、登山によって健康な身体と豊かな心を育てよう。
- (三) 私達は、登山によって助け合う心と友情を深めよう。
- (四) 私達は、多くの人達と交流し山を愛する仲間を増やそう。
- (五) 私達は、力を合わせ正しい山のモラルと高い技術を生み出そう。
- (六) 私達は、安全で確実な登山思想を身につけよう。

1月号目次

* 六つの合い言葉・目次	
* ステップアップ 中村会長	01
* 事務局長会議報告	02
* 北陸新幹線延伸計画をめぐる状況	03
* 積雪期搬出訓練の案内	05
* 積雪期搬出訓練 参加申し込み書	05a
* 女性委員会雪見山行案内	06
* 女性委員会山行報告・小塩山	07
* クライミング委員会山行報告	09
* 大文字山登山道整備活動の案内	11
* 大文字山登山道整備活動の報告	12
* 能登半島地震被災者支援活動の報告	13
* 連盟交流会山行報告	17
* 連盟交流会（研修会と全体集会のまとめ）	19
* 連盟創立60周年第12回実行委員会報告	26
* 連載企画・二百名山登頂シリーズ第59回「釈迦ヶ岳」	28
* 1月号の案内	29
* 連盟月間予定表「カレンダー」	裏表紙

60周年を飛躍の年に

会長 中村好夫

あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、会員みなさんは今年の挑戦に思いを巡らせておられることでしょう。

先日テレビを見ていると、比叡山の山道を整備されている方の放映がありました。若い時から山に仲間とご夫妻で登り、その恩返しと20年前から比叡山の山道を整備され、ご主人は88歳だそうで元気に山道を整備されていました。

天王山やポンポン山でも山道を整備され、数年前の台風で倒木によって山道が大きく損壊した時に、登山者の安全を願い倒木の整理と登山道の整備をされていたみなさんがおられました。

東日本大震災で大きな被害を受けた宮城労山の仲間は、その恩返しにと北アルプスの登山道整備に宮城労山を上げて取り組んでおられます。山を愛する者にとって、頭が下がるとともに、なんとも頼もしい仲間がいることに感激します。

京都府勤労者山岳連盟でも継続的に能登大地震の復興へのボランティア支援活動や、自然保護活動などに活躍している仲間には敬服します。仲間の献身的な努力によって、素晴らしい山歩きをさせてもらっている日本の山々に感謝しています。

京都府勤労者山岳連盟も60周年を迎えました。

人の年齢でいえば還暦です。古から十干十二支が一巡する60年ごとに祝いの取り組みがなされてきました。京都府勤労者山岳連盟のこの60年を記念して、様々な取り組みが計画されています。この一つ一つをしっかりと取り組むとともに、組織的にも質的にも大きな飛躍をぜひとも会員みなさんと成し遂げたいと思います。

いま、日本の政治も危険な戦争の道へ踏み出すのかどうかの瀬戸際のように思えてなりません。「平和でこそ登山ができる」その思いを切実に感じるようになりました。安心して山歩きを楽しめる事ができるよう、仲間のみなさんの活躍を期待します。

事務局長会議報告 (各会と連盟の活動報告・意見交換・情報交換を目的に開催)

12月2日：やましな,乙訓,右京,西山,伏見,洛中,明峯,山城,亀岡,左京,福知山,11 労山
各会の活動状況(前月の例会や集いの実施状況・予定等)[各会・クラブ機関誌参照]
・[右京]<例会>11/8~9 朝来山&竹田城山(キャンプとBQ)9人,16秋のバスハイ
イク大江山トレイル4コース24人<予定>12/21 終い山行地蔵→愛宕山→ツツジ
尾根(善哉)<その他>11/27 集い zoom で「冬山装備と雪上歩行について」8人
・[やましな]<例会>11/16 若狭駒ヶ岳(紅葉)7人,<予定>12/14 納山祭蛇谷ヶ峰(天
空温泉),21 嵯原→水尾(柚子風呂,鶏鍋)<その他>12月7日㊥ミヤコメッセ55人。
・[西山]<例会>11/7 道なきポンポン山7人,11/16~17 九州オルレ⑤筑豊・香コー
ス&貫山7人<予定>12月7と14日愛宕山ペース登山実施<その他>11月22日
第40回定期総会86名が出席、グループ別に分けて参加者全員が発言した。
・[乙訓]<例会>11/2 湖南アルプス(体験可)13+2人,27 山の辺の道パート②8人<
予定>12/6 兵庫大岩岳と武田尾廃線敷,13~14 納山祭 愛宕山・龍の小屋
・[洛中]<例会>11/8~9 秋山合宿 2025(みたらい溪谷と洞川温泉郷)23人,30 ア
イゼントレ&ロープ(リトル比良)9人<予定>12/13 東山 36 峰第4回
・[伏見] <例会>11/10~11 蒜山三座縦走14人,23 公開ハイク大文字山 de 読図 22
人<予定>12/7 納山山行(東山トレイル)と望年会,21 終い大文字
・[明峯]<例会>11/29 初級山行明日香古墳巡り9人,30 アイゼントレ白坂5人<予
定>12/21 終い山行愛宕山2コース(表山道とツツジ尾根)神社で豚汁
・[左京]<例会>11/2 比叡山2人<予定>12/14 岐阜金華山,21 比叡山~坂本
・[亀岡]11/8 深山交流会23人,30 能勢・熊対策として必ず団体での行動を徹底
・[山城]11/20~21 竜ヶ岳(山梨)富士眺望4人,29 交野(星のブランコ)2人
・[福知山]11/8 交流会13人,30 岡山の鬼城山バスハイク20人

連盟の取り組み、活動報告 (連盟の取り組みや活動状況を連盟事務局から報告)

- ① 2025 交流会 11月8日(土)。14 労山 119 名参加。担当亀岡、左京、やましな。
コース・天気よく93名深山無事下山。研修会・全体集会も実りが多かった。
- ② 第19回全国登山研究会開催。11月15日~16日新大阪ユースホテル。
分科会は「筋トレ」「組織拡大・教育」「自然保護」の三つ。大阪労山主催。
京都から7労山18人の参加もあり、各分化会で突っ込んだ議論となった。
- ③ 全国の第37回総会、2月14,15日東京市ヶ谷で開催予定。
- ④ 京都労山第61回総会は、3月1日(日)左京区教文センターで開催予定。

1月の事務局長会議は、1月6日(火)PM7時半から。WEB専用会議とします。

「北陸新幹線延伸計画」をめぐる状況（続報 4）

その後の動き

- 自・維連立で「北陸新幹線ルートさらに不鮮明に」と、新聞報道
(10/26 産経)
 - 与党（自民党・日本維新の会）は、北陸新幹線の延伸ルートの選定など
整備新幹線に関するプロジェクトチームの設置を確認
(10/31 与党政策責任者会議)
 - 日本維新の会は、北陸新幹線の敦賀～新大阪延伸計画について、従来の
「小浜・京都ルート」に加え、7つの対案を提示し、合計8ルートの再
検討を自民党に提案（12/2）
 - ・小浜・京都ルート（敦賀～小浜～京都～新大阪）
 - ・亀岡ルート：敦賀～小浜～亀岡～新大阪
 - ・米原ルート（乗り入れ）：敦賀～米原、東海道新幹線に直通
 - ・米原ルート（乗り換え）：敦賀～米原、東海道新幹線に乗り換え
 - ・湖西ルート（新設）：敦賀～京都～新大阪
 - ・湖西ルート（在来線活用）：湖西線を改軌して新幹線車両を走行可能
にする案
 - ・舞鶴ルート（京都経由）：敦賀～小浜～舞鶴～京都～新大阪
 - ・舞鶴ルート（亀岡経由）：敦賀～小浜～舞鶴～亀岡～新大阪
- 政府・与党は2016年に「小浜・京都ルート」を決定したが、京都府内の地下水への影響や建設費の高騰が懸念され、着工が進んでいない。維新は「決定に縛られず、費用便益比を再試算して比較検討すべき」と主張。維新顧問の前原誠司衆院議員がプロジェクトチーム座長を務め、議論の透明性を確保し、国民にメリット・デメリットを公開する方針を示している。プロジェクトチームで、8ルートの費用便益比を試算し比較検討する予定で、初回の協議は12月中に開かれる見通し。
- ＜参考＞ある試算によると
- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 小浜・京都ルート | 費用便益比 0.5～0.55（朝日新聞等試算） |
| 米原ルート | 費用便益比約 1.4 |
| 湖西ルート約 1.1、舞鶴ルート約 0.8 | とか |

とりくみ

○京都市の高校３年生が１人で向日市議会（８/２７）に「延伸の撤回を求める請願」を行いました。（９月に京都市議会へも）

理由：莫大な建設費（最大５兆円規模）による将来世代の負担
成熟社会に合わない、環境等への影響、安全性への懸念

○延伸計画の中止を求める久御山の会

議会へ署名を提出 11/20 約 1,200 筆

○京都仏教会 京都市長へ署名提出 11/25 約 5 万筆

労山の「見直し」署名は、準備書が出るまで機構へ届けます。

現在累計 10,215 筆 仏教会の署名もあれば送ってください。

第 8 次分として年内に機構へ送付します。

開発等による山と自然環境を壊す動き

11 月 15・16 日大阪市で開かれた第 19 回全国登山研究集会（全国勤労者山岳連盟主催）の第 3 分科会「自然保護」のレポートで山と自然環境を壊す開発等の動きが報告されました。

○奈良二上山の産廃問題

奈良の二上山では産廃中間処理施設の産廃の山でピラミッドができ景観を壊すとともに、二上山を源流とする竹田川の水質が排水により汚染され水生生物等がいなくなるなどが起きています。

○神戸市の新ロープウェイ建設構想

神戸市が、布引ハーブ園山頂駅から摩耶山掬星台を結ぶロープウェイの新設構想をすすめています。付近は国立公園の第 1 種特別地域で、鉄道や索道が作れませんが、神戸市は環境省へ規制緩和を要望し実施しようとしています。

○北陸新幹線延伸問題についても経過や問題点、現在の状況の報告を行いました。

遭難対策部/救助隊

「積雪期搬出訓練」のご案内

実施日：2026年1月25日（日）

受付：比良イン谷口トイレ前広場 9:00 集合

開始 9:30 解散 15:00

訓練場所：正面谷周辺

対象者：雪山ハイキングや雪山縦走をされる方、
これから参加したいと思われる方

内容：ビーコン・プローブ 訓練、負傷者の梱包、堂満第1ルンゼからの搬送

持ち物：積雪期の日帰り個人装備

ビーコン、ハーネス、シャベル、プローブ、ヘルメット、登攀装備
登攀装備は持っていなくても参加可能です。

アイゼンは原則使用しません。

（ビーコン・プローブ訓練の時は見学だけでも勉強になります）

締め切り：2026年1月18日（日）

各会にて参加者の集約をして頂き

遭難対策部右京労山・村上明彦までメールにてお申込み下さい。

アドレス vup884@wish.ocn.ne.jp

申し込み用紙は、1月「京都労山」にて配布します。

その他：当日の参加者の緊急連絡先（留守宅）は各会で把握して下さい。

＊複数回参加の方は補助講師のお手伝いをお願い致します！

京都府勤労者山岳連盟山行申込書

各会様、1月18日までに青の箇所を記入して

返信願います。

救助隊企画で岩・沢・雪山・宿泊以外の山行

山行名： 救助隊正面谷積雪期撤出訓練

山行日： 2026年1月25日

所属山岳会名：				各会の留守宅本部、及び、各会の参加者個人の緊急連絡先(留守宅)は各会が責任を持って把握して下さい。当日の参加者氏名も各会が把握して下さい。	
★参加者代表者：氏名 & 携帯番号					
山岳会名	申し込み書 提出者・提出日	氏名		申込日	
	留守本部 氏名・連絡先	氏名		携帯番号	
	現地参加責任者氏名・連絡先	氏名		携帯番号	
訓練責任者 坪山 芳樹 090-5065-3946		統括留守本部：			
山行目的		行動予定		共同装備	
積雪期における遭難者捜索救助搬送技術の向上 ・ピーコソ、プロローブ探索方法を学ぶ ・負傷者の梱包引き降ろし搬送方法を学ぶ		1. 9時00分より イン谷口上部公園(トイレ前)広場で受け付け開始 2. 9時30分より正面谷で負傷者の梱包訓練、ピーコソ、プロローブ探索訓練 3. 負傷者の梱包引き降ろし搬送 4. イン谷口上部公園(トイレ前)広場で反省会、解散		共同装備は遭難対策部で準備します。 ・50mロープ×1本・6 ^{mm} 細引き20 ^本 ・1本・テープピンダテープ1巻 ・シュリンゲ9本、テープ120 ^{mm} 2本60 ^{mm} 2本、細引き1本、ピナ8個、安環4個・保護材(グラブシート・マット・シュラフ)以上班数を掛ける数量 ・ピーコソ3台 グループシート1枚 ・簡易無線機5台	
スタッフ	一般	★参加者：氏名	スタッフ	一般	★参加者：氏名
1.			10.		
2.			11.		
3.			12.		
4.			13.		
5.			14.		
6.			15.		
7.			17.		
8.			18.		
9.			19.		
				個人装備 ・積雪期一般日帰装備(ヘルメット含む) ・以下は持っている人 ピーコソ プロローブ シヤベル ハーネス 登攀用装備 その他 ・雨天時、降雪時や雪が無くても決行です。 ・原則、アイゼンは使いません。 ・アナログピーコソは使いません。	

大文字山（465.2m）

天候不良による中止の場合は連絡をします。

やさしい雪見山行です。

白い雪景色の大文字山を期待してゆっくり登りましょう

「山行日時」 2026年 2月15日（日）

「集合場所」 JR山科駅前 集合時間 8時30分

「コース」 JR山科駅～柳山、蔭山～毘沙門山～雨社～大文字山～七福思案処
～日向神社～地下鉄蹴上駅

歩行時間約4時間30分 歩行距離約8km

〔持ち物〕 日帰り一般山行装備（地図、周辺マップ等 持参お願い致します）

〔締め切り〕 2月12日（木）

〔申込み先〕 各会の女性委員

又は、洛中労山 進藤寿美子 携帯 080-3799-0887（Cメール
☎可）

Gメール：sumiko.shin@gmail.co※申し込みの際に（所属会名）（氏名）
（携帯番号）（緊急連絡先）を必ず知らせて下さい ※男性の方の参加大歓迎です



女性委員会山行報告

小塩山 (642m)

2025 年 11 月 30 日 (日) 快晴

参加者 乙訓山の会 2 名 樹の根 17 組 2 名 洛中労山 2 名 右京労山
2 名 西山HC3 名 田辺山友会 1 名 やましな山の会 1 名
計 13 名 (順不同)

行程 JRバス 東向日駅 7:48——南春日バス停出発 8:20——金
蔵寺 9:25——小塩山登山口 9:50——小塩山頂上 11:00
(昼食) 出発 11:30——紅葉林 12:20——車道鹿よけネット
13:00——大原野神社 13:15——南春日 13:45 のバスで
阪急電車又はJR駅に。

報告 バスを降り、小春日和の大原野からジグザグの集落を登りつめ
小塩山の中腹にある天台宗の古刹金蔵寺に、まさに紅葉真っ盛りで
綺麗!!の歓声上がる。ゆっくり休憩し、ここから 11 名で、
急な石段を登り詰めて山道に入る。おぼつかない山道、倒木に惑わ
されたか回り道をしてしまった。

淳和天皇陵から頂上へ、少し早いがここで昼食にする。

山頂からの見晴らしは無い、見晴らしの良い所には通信会社の塔
林立(以前は入れたのだが)し、進入禁止になっていた。

春にはカタクリの花が咲く谷を左に見て、落ち葉で埋まった細い
山道をこけつまろびつ用心しながら下る。色とりどりの楓、楓に
歓声上がる、自然の美しさにただため息……。

報告 乙訓山の会 小室澄枝

感想 快晴のもと、山の中で見る紅葉は圧巻である。「うわ!ー」
紅、黄、緑が共演して錦が織りなす景色は見事である。
中腹の金蔵寺から道を外れるハプニングがあったが淳和天皇陵が
ある頂上での昼食は、ぽかぽか陽気で笑顔の花が咲いた。
下り終えた大原野神社は紅葉狩りの客で賑わっていた。

田辺山友会 中村康信

気持ちの良い秋空で山に入ると少しずつ紅葉が始まり、小塩山からの下山したあたりは周り一面が紅葉していて見とれているとこけそうでした。又参加したいと思います。

山科山の会 三木 瞳

秋の山は遠出しなくても西山で十二分に楽しめる事を知りました。金蔵寺の紅葉も良かったです。小塩山から少し下った所に広がっていた紅葉は濃淡色とりどりで陽が透けて言葉にならないほど美しかった。暖かな晴天の下、その光景を貸し切りで楽しめました。又歩きに行こうと思います。皆様有難う御座いました。

乙訓山の会 小島紀子

金蔵寺の境内にて



クライミング委員会山行 報告

クライミング 《北小松の岩場》

日:10月18日(土) 雨

メンバー:内野(洛中)、小泉(田辺)、青山(やましな)

今期の沢は終わりで岩シーズン、北小松の岩場へ。急登アプローチ20分の後、まずは易しいのを1本。1人目が登り終わったあたりから雨がピリピリ、2人目でパラパラ、3人目が降りてきた頃には岩がベッチャリと…。

天気回復の気配なく、ブツブツ言いながら下山。



クライミング 《横谷 奥立岩》

日:11月2日(日) 曇り

メンバー:小泉(田辺)、青山、河合(やましな)

河内長野にある奥立岩に行ってきました。雨が降ったらしく到着した時岩場近くの道路はびっしょり濡れていて、今日は無理かなと不安になりながら岩場に上がると岩は乾いていて大丈夫でした。岩質は花崗岩で、5.10 以下と 10 台がほとんどでリードの練習に良い場所だと思います。終了点のチェーンが小さくカラビナが入りにくい所もあり、トップロープをするにはスリング等があった方がよい所もありました。

到着時は先行パーティー1組だけでしたが、午後には人で一杯になりました。賑やかすぎてクライマーのコールが聞こえない場面もあり、自分も気を付けようと思いました。

小泉さんが初MOS!! クライミングジム等にも行かれておらず、クライミング委員会の数回の例会参加のみで素晴らしい成果だと思いました。おめでとうございます!



人が多いながら、朝から夕方までそれぞれのルートを満足するまで登れました。

～感想～

やったあ。初めてリードで最終点まで行けた。やっぱりクリアすると達成感があるなあ。

しかし、ロープ解除後ビレイヤーから足が滑った時にヒヤッとしたと聞き、落ちる不安は無かったがリードだとそう思われるのかと、リスクがあることを改めて思った。リードを安全に行うには、もっとギアを上げないとダメだと考え、これを機に近くのジムに通い始めた。とりあえず目先 1 年集中して取り組んで行きたい。小泉



クライミング 《裏六甲の岩場》

日：11月23日(日) 晴れ

メンバー：青山、河合(やましな)、内野(洛中)、岩根(左京)、梅若(乙訓)

裏六甲の岩場(烏帽子岩か不動岩)に行ったことがないので一度行ってみたいとの要望があり、烏帽子岩に行ってきました。

岩場に到着早々、青山・河合ペアは『ゴールドフィンガー5.10a』に取付く。内野さんが大人気の『太陽がいっぱい 5.9』を登ろうとするが、先行者がいたため『アフターバイト 5.9』をリードで登る。そこを岩根さん、梅若が続いて登る。その後、その3人で『ごめんなすって 5.9』、『太陽がいっぱい』を登り、後半戦は『右奥壁』の 5.7～5.8 のルートに登り満足したところで、少し離れたところにある『駒形岩』を偵察して今回のクライミングを終了しました。

この日は連休の中日と言うことなのか、人が少なく、名物？のトップロープのすだれ状態もなく、気持ちよくクライミングを楽しむことができました。青山・河合ペアは……(笑)



京都府連盟登山道倒木整備 一大文字山を整備しよう

これまで登山道を使った感謝の念と恩返し、多くの登山者の安全のために

安祥寺上寺跡右俣登山道周辺の整備を行います。ここは谷が狭く、太く長い倒木が密集しているので今まで以上に危険が伴います。作業前には十分に打ち合わせと危険予知を行い、作業中も声を掛けあってケガのないように行動します。

これまでと同様に参加者の力量に応じて、力のある人はノコギリで倒木伐採、大木運搬、力のない人は小枝切り、小枝整理、声援と分担して行いますので誰でも参加できますのでご安心下さい。ケガをした場合は労山基金も対象になります。

登山道整備は京都大阪森林管理事務所の承認を得て実施しています。伐採する倒木には1本1本管理事務所の伐採許可番号札が貼り付けられています。

みんなで頑張って楽しく安全第一で整備しましょう。参加をお待ちしています。

★実施日：1月17日 2月21日 3月7日（いずれも土曜日）

本降りは中止。小降りは状況によって実施。天候が怪しい時は前日か当日の朝早く判断して中止メールを送ります。

★申し込み締め切り：実施週の月曜日

★集合場所：JR山科駅改札口付近 8時30分には出発します。

★参加申込先：連盟登山道整備担当 やましな山の会 青山郁夫

080-3797-4392 携帯メール 2382m.ikuo1025@ezweb.ne.jp

留守宅（緊急連絡先）も教えて下さい。

★参加条件：労山基金を含め山岳保険加入者

★持ち物：カップ、ヘッドランプ、レスキューシート、タオル、安いゴム手袋（なければ軍手）お弁当、救急薬品 ヘルメット（必携）、ノコギリ（なければお貸しします）、長靴（任意）、スパッツ（任意）、笑顔（必携）
必要に応じて簡易ハーネス、カラビナスルー装備、確保装備

★共同装備：9mm.8mm ロープ、ビニール紐、カラビナ、ダック、サムスプリント

★その他

- ・作業の前には危険予知を相互に行い安全作業に努める。
- ・木が1/3切れたら声を掛けること。1/3でも突然、木が切れ落ちることがあるので注意！
- ・木を切る前には切れた木がどちらに落ちるか、跳ねるか常に予想して退避方法を考えておくこと。
- ・切った木を運ぶ時も木がどう動くか予測しておく。
- ・コロナはまだ続いています。インフルエンザも心配です。

本人や同居家族で微熱や、咳、喉の痛み等がある場合は参加を取りやめて直ぐに発熱外来に行ってください。



京都府連盟 ～大文字山登山道倒木整備報告～

連盟登山道整備担当：青山郁夫

先月号で実施日を9月27日としていましたが10月18日の誤りでした。

2025年11月18日（晴れ）

やましな：郁夫、久子 右京：荒木賢子 明峯：坪山芳樹

山科駅 8:30--8:59 林道入り口 9:17--9:27 安祥寺上寺跡右俣整備 14:07-14:58 山科駅

坪山さんの力量には感心しました。倒木の引き上げ方法は緻密に計算して重心を求めて実施。重い木はエイヤーと持ち上げる。とても私には出来ないことばかりで作業が捗りました。ありがとうございました。また参加して下さいね。

荒木さん

4人で作業。沢の中の小枝集めを2人で作業したのですが、中々大変なことでしたが、奇麗に成り喜んでいます。

久子さん

前回の続きで、谷をまたいでいる倒木を急斜面を登って切り、登山道や急斜面の木と木の間に渡す。主に坪山さんと郁夫さんの作業でした。私と荒木さんはひたすら谷の小枝を拾い集めました。こんな地味な作業でも終わると、「ちょっと捗ったかな」と思うのです。行く道でアケビの実を見つけて、肉みそを入れて焼くと美味しくいただきました。

今、整備している安祥寺上寺跡右俣はB尾根とD尾根の間のC谷（段野谷）の上流に位置します。安祥寺上寺跡へはこの右俣か左俣から行けます。また、大文字山の南の経塚山の南尾根を下っても行けます。一度、行ってみてはどうでしょうか？

安祥寺上寺跡をネットの「YA009 安祥寺上寺跡 - 京都市」で検索すると

安祥寺は仁明天皇女御藤原順子(809～71)の発願により嘉祥・仁寿年間(848～53)頃に建立された寺で、唯摩会など国家的仏事が行われた。開基は入唐僧恵運(798～869)。斉衡8(856)年、寺の北方50町がさらに施入され伽藍が建立された。この山上に位置する伽藍を上寺と呼ぶ。のち勸修寺や高野山の支配が強まり、上寺は南北朝の兵火で焼失し、五大堂本尊などは東寺観智院に移された。



倒木を切るのも大変



並べるのも大変



こんな木も



頑張って整備しました

第 49, 50, 51, 52 回 能登半島地震復興支援ボランティア報告

連盟ボランティア担当 青山郁夫

第 49 回 活動日：2025 年 11 月 6, 7 日七尾市 走行 727km

参加者 やましな：青山郁夫 久子

11/ 5 曇 京都 10:13—氷見雨晴海岸貝殻拾い—18:37 農遊庵泊 366km

11/ 6 曇 農遊庵—7:33 保育園—府中町被災者宅—保育園 16:32—農遊庵泊 368km

★参加者：全体で 30 人 私たちの班 13 人、軽トラ 2 台 2t トラック 1 台

★活動内容：公費解体被災者宅の物品搬分別搬出、旭町倉庫搬送 完了

11/ 7 晴 農遊庵—7:36 保育園—小島町被災者宅—保育園 16:42—22:48 京都 727km

★参加者：全員で 25 人 私たちの班 11 人 軽トラ 2 台 2t トラック 1 台

★活動内容：公費解体被災者宅の物品搬分別搬出、旭町倉庫搬送 継続

第 50 回 活動日：2025 年 11 月 13, 14 日七尾市, 15 日志賀町 走行 801km

参加者 やましな：青山郁夫 久子

11/12 晴 京都 9:22—小境海岸貝殻拾い—大境洞窟居住跡—18:21 農遊庵泊 369km

11/13 晴 農遊庵—7:38 保育園—石崎町被災者宅—阿良町被災者宅—保育園 16:39—農遊庵泊

★参加者：全体で 28 人 私たちの班 4 人、軽トラ 1 台

★活動内容：アパート仮住まい引越し物品搬出、修理母屋被災者宅の物品搬分別搬出、旭町倉庫搬送 継続

11/14 曇 農遊庵—7:14 保育園—能登島鵜浦町被災者宅—保育園 17:08—18:00 とぎ海街道の駅車中泊

★参加者：全員で 76 人 私たちの班 12 人 軽トラ 2 台 セレナ

★活動内容：公費解体被災者宅倉庫の物品搬分別搬出、旭町倉庫搬送 継続

11/15 晴 とぎ海街道の駅 8:25—8:26 志賀町ボラセン—5 軒、里本江、領家町、相神、領家町南被災者宅—志賀町ボラセン 15:56—渤海の湯—23:37 京都 801km

★参加者：全員で 20 人 私たちの 4 班人 軽トラ 2 台

★活動内容：被災者宅の仏壇移動、冷蔵庫扇風機搬出、母屋、納屋物品搬出、公費解体済の屋外放置品の物品搬分別搬出、仮置き場搬送と多様だった 完了

第 51 回 活動日：2025 年 11 月 22 日志賀町(労山石川県連活動) 23 日七尾市 走行 801km

参加者 田辺山友会：田中正和 やましな：青山郁夫

11/21 曇—一時大雨 田中自宅 19:20—20:20 青山自宅 20:25—1:25 とぎ海街道の駅車中泊 356km

11/22 晴 とぎ海街道の駅 7:30—8:47 志賀町今田被災者宅 15:57—渤海の湯—18:20 農遊
庵泊 404km

★参加者 : 全体で 10 人 石川県連 6 人 京都 2 人 NPO 結 2 人 2t トラック 2 台

★活動内容 : 一部損壊被災者宅の母屋物品搬分別搬出 (仮置き場搬送) 継続

11/23 晴 農遊庵—7:31 保育園—相生町被災者宅—保育園 17:23—23:22 青山自宅
23:27, 438km—0:10 田中自宅

★参加者 : 全体で 87 人 私たちの班 6 人 軽トラ 1 台 セレナ

★活動内容 : 公費解体店舗事務所の帳票類他物品搬分別搬出 (旭町倉庫搬送) 継続

第 52 回 活動日 : 2025 年 11 月 29 日 七尾市 走行 730km (能登島観光含む 795km)

参加者 やましな : 青山郁夫 久子

11/28 晴雨晴 京都 11:52—17:35 七尾城登山口駐車場車中泊 356km

11/29 晴 駐車場—7:48 保育園—伊久留町被災者宅—保育園 16:45—18:56 駐車場車中泊

★参加者 : 全体で 110 人 私たちの班 13 人 軽トラ 2 台 送迎車

★活動内容 : 公費解体被災者宅の物品搬分別搬出 継続

11/30 晴 駐車場 6:04—能登島水族館—のと鉄語り部列車 (穴水往復) —20:57 京都



11/6 公文の先生の母屋



11/7 おばちゃんの倉庫



11/13 アパートの引越し



11/14 おじいちゃんの倉庫



11/15 解体した家の物品



11/22 作業前はこんなんだった。作業後、綺麗になった



11/23 お店の帳票搬出



依頼主さんと記念撮影



11/29 甥っ子さんの母屋



11/30 能登島水族館



のと鉄語り部列車乗車

やましな山の会 青山郁夫

11 月は過去最高の 4 回 8 日間能登に行くことができた。

活動内容は今回も公費解体予定の家屋から新居に運びきれない家財の片付け分別搬出搬送等が多かったが、今回は仏間移動、解体後に放置されている家財の搬出も行った。

穴水町、七尾市は昨年にボランティアの募集がなくなり最近では能登町、輪島市、志賀町も募集がなくなった。珠洲市は週 1 度の現地集合だけとなり、おらっちゃ七尾も 12 月の被災者宅活動は土日だけとなった。石川県連が取り組んでいた活動にはこれまでに 9 回参加したが今回で最終になるだろうと聞いている。

11/10 の石川県情報では「42162 棟あった公費解体の進捗状況は被害の大きかった能登 6 市町の 10 月末で、穴水町解体完了、珠洲市 99%、志賀町 97%、輪島市 96%、能登町 95% の解体が完了。残り 2106 棟（青山：半数が七尾市）の公費解体も年内の完了を目指している」となっていた。12/2 の北陸放送ネットでは「輪島市長の報告で市内の新規着工申請は 240 件を超え少しずつであるが復興への明るい兆しが見える」との記事があった。

ボランティアの募集が縮小するのはそれだけのニーズが無くなった証、復興が進んだ証であり大変喜ばしいことである。しかし、11 月の活動を振り返って現状は果たしてそうなのか、取り残されている被災者はいないのか一抹の不安を抱かざるを得ない。

やましな山の会 青山久子

11 月で震災から 1 年 11 か月を迎える。輪島市は県ボラの募集が一度もなかった。珠洲市も現地集合だけになったことで、ボラバスが終了となった。志賀町も今月末で仮置き場が閉鎖され、県ボラの募集も終了となる。七尾市は民間の支援団体『おらっちゃ七尾』がローラー訪問（七尾市内の住居を一軒一軒回って、震災由来の困りごとがないか尋ねて、解決の方向を一緒に探す）をしているので、被災者のニーズを拾いやすく、その分抱えている案件数も多く、ボランティアの受け入れも土日は 100 人を超えている。また、団体の受け入れも積極的で、14 日は鳥取県米子市の高校生 40 名が活動され、毎回基督教のさまざまな宗派の団体が揃いのビブスを着て活動されている。もちろん顔なじみも多い。

被災地では行政はボランティアの受け入れを減らし、片やまだまだ支援を必要としている方が多くおられ、いまだに全国から多くのボランティアが何かできることはないかと被災地を訪れる。このギャップ、この温度差にやるせなさを感じるし、若いボランティアの純粋な気持ちには心がなごむ。

29 日に行ったお宅は、台所に震災当日の食べ残しがそのままあったり、カレンダーも当時のままで、時間が止まっていた。台所の食器や梅干しの瓶などすべて片付けた後、「こんなに広がったんですね」と言われた。時も気持ちも少し進んだかもしれない。

また、ボランティアが 10 か月ぐらいいっしょに来てお宅も 30 日の活動をもって完了となり、12 月 1 日に解体が始まると聞いた。静かに穏やかに時の歩みを感じた 11 月であった。

能登半島沖地震が発生して間もなく 2 年になります。今回訪れた七尾市や志賀町は能登半島のほぼ中央部に位置し、震源から離れていたこともあって営業を再開している店舗も多く、街は活気を取り戻しつつあります。損壊を受けた家の解体も徐々に進んでおり、必要な家財の取り出しや使えなくなった家財の廃棄が、われわれボランティアに求められる主要な活動となっています。

金曜夜に出発。深夜 1 時過ぎに志賀町集合場所に到着し、そのまま車中泊。活動初日は、石川県連と共同で、空き家となったお宅から思い出の品や御遺品を廃棄する作業でした。2 年前まで何十年も使われていた家財道具を廃棄するのは、非常に淋しいものです。依頼主である娘さんが 50 年ほど前に使用していたと思われる可愛い柄の毛布などもあり感慨深かったです。

石川県連の方々と活動するのは、今回 2 回目でしたが、いろいろと学ぶこともありました。登山では得られないつながりができたのもよかったと思います。



その日のうちに、七尾市に移動して民宿に宿泊。活動 2 日目は、取り壊す予定の商店から不用品を廃棄する作業でした。まだ PC が浸透していない時代、故人の残された大量の手書き伝票の解体 分別と、慣れないミッション軽トラでの廃棄場への運搬 廃棄が私の担当でした。慣れた頃に完了となり、七尾を後にしました。



震災直後の水も電気も道も不十分だった混乱期に比べて、復興活動のハードルもかなり下がってきました。住宅再建に向けて動き出された方も増えてきた様に思います。やむなく土地を離れてしまわれた方も多数おられますが、またいつか、以前の賑わいが戻ってくることを心から願っています。

2025 年連盟交流会山行 深山

報告：連盟 60 周年実行委員
右京労山・高木亜季子

【山行日】 2025 年 11 月 8 日(土)

【天 候】 晴れ

【参加者】 福知山山の会 12 名、左京 5 名、西山ハイキングクラブ 6 名、やましな 8 名、田辺山友会 11 名、らくなん 7 名、山城山の会 6 名、乙訓山の会 3 名、右京労山 1 名、WAO 亀岡 20 名、明峰労山 3 名、舞鶴山友会 8 名 計 90 名

【山行報告】

2025 年連盟交流会の山行はるり溪・深山。各会の車とマイクロバスでるり溪温泉の駐車場に 9 時に集合します。今回は基本的に各会で登りますので、受付を済ませた会から出発。90 名と沢山の参加がありましたが、順番に出発していくのでそれ程混雑はしなかったように思います。駐車場からはしばらく舗装路歩き。ゴルフ場の木々が綺麗です。この日はとても気持ちの良い秋晴れ。少し登っただけで雲一つない空と見晴らしが最高です。ススキもキラキラ。最初に登ったピークから深山を眺めると、まだあんなに遠いの？と思ってしまいます。でも、意外と近くドウダンツツジの真っ赤な紅葉を過ぎると無事に山頂に到着しました。私たちがもうすぐ山頂、というところで先に登っていた会が下りて来られていました。山頂は広く、景色も素晴らしいです。山頂の鳥居の横辺りにはセンブリも咲いていました。とても小さいので気付かずに踏んでしまいそうになりながら写真を撮ります。可愛い花にも癒されました。

昼食はあかまつの丘で食べる予定になっているので、小休憩をしたら下山開始。同じ道を辿るのですが、逆から見ると一層ススキが綺麗に見えて登りでも写真撮ったけど、また写真を撮ってしまいます。土が少し滑りやすい急な箇所は慎重に下り、無事に下山しました。

担当会の WAO 亀岡の皆さんが登山口に行くために道路を横切るところ等、ポイント毎に立って案内して下さり、スムーズに山行出来ました。私は右京から一人だけの参加でしたので山行も WAO 亀岡さんとご一緒させて頂き、楽しく登ることが出来ました。お世話になりました。深山には初めて登りましたが、良いところでした。また、右京でも例会にしたいと思います。



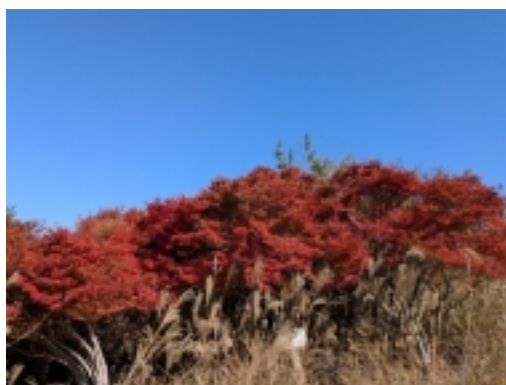
登山口へ道路を渡ります



ここから登山開始！



雲一つない最高の天気



ドウダンツツジの紅葉も綺麗



山頂は広いので思い思いに過ごせます



可愛いセンブリ

2025 年連盟交流会まとめ

<研修会の部>

於：南丹市あかまつの丘西本梅

参加者 29 名

2025 年 11 月 8 日（土） 9：30～12：30

沖 光弘 高田たく子（山城山の会）中村好夫（西山ハイキングクラブ）

藤村敏幸 宮内 毅 平尾繁和 原田和嘉子 （田辺山友会）

金山晶子 （福知山山の会）西村悦治 近藤直人 （乙訓山の会）

尾崎清司 岩井 勉 田原 裕 高野 寛 （伏見山の会）

大江六夫 山本辰夫 （洛中労山）岩根 浩 富沢栄子 土井利恵子

（左京労山）青山大地 中村たてお 藤田弘子 （やましな山の会）

山下建男 吉野あけみ （右京労山）高岡義昭 野原真紀子 谷村美知

子 蚊野佳恵子 （WAO 亀岡）坪山芳樹 （名峰労山）

はじめに西村事務局長から

参加者の自己紹介のあと、西村氏から会議の流れの説明と添付資料と議題についての説明あり。

<司会>青山

このように各会が一堂に会して話す機会はあまり記憶がない。

クライミング委員会等で他の会員から断片的に話を聞くことはあるが詳しくまとまって内容を聞く機会はなかったので、ざっくばらんに悩みや意見を言ってほしいとあいさつ。

（坪山理事長）

なぜ、このような会議をもったのか、結成 50 数年以来、京都労山も高齢化が進み、登山技術を継承していくためにも人材を育てることが必要なので 60 周年のプレ企画として会員同士の交流と意見交換の場にしたと考えている。

『テーマ 1 学習について』

<田辺>：来年担当の交流会を念頭に今回大人数で参加した。

連盟と会の交流はこれまであまりなかった。大文字山の登山道整備も交流の一環として意識的に参加している。

京田辺市と共催でバスハイクを行い、夏山研修は 30～40 名で参加して

いる。60 周年実行委員会もリモートだけではわかりづらい。いろいろ苦労はあるだろうが過程や中身が知りたい。

＜右京＞：つどいはリモートで学習会をやっている。登山教室は開くが一般参加者対象。学習会に出席する会員は少なく、運営委員くらいしか参加者はない。

＜田辺＞：消防署員にきてもらって心肺蘇生の訓練をやっている。参加者は 15～16 人。労山部で体育館を借りてロープワークなどを独自でやっている。飯盛山で読図山行を会で作っている。

＜亀岡＞：読図山行を牛松山で作っている。参加者は 20 人規模。

＜洛中＞：月 1 回は山塾としてロープワーク、テント泊、ヨガなどの学習にあてる。会場費が 6 倍に値上がりして運営委員会を WEB でやるようになったが山塾は WEB では難しい。毎月木曜午後 6 時半からの山塾には初級登山学校修了者が担当講師としてあたる。

参加者は 15・6 人いる。前半 1 時間は山塾、後の 1 時間は運営委員会にあてる。

＜右京＞：会員の居住者は広く大阪や滋賀、兵庫にもいる。連盟事務所も遠くて集まりにくくなった。

＜亀岡＞：WA0 ニュースを発行して会員に知らせている。

＜伏見＞：つどいの前半 1 時間は山行の報告や連絡。後半の 1 時間は学習会にあてている。学習会の中身も読図・ロープワーク・気象・テーピング・ツェルトなど多岐にわたる。

参加者は 20 人くらい。女性会員が多い。実技は読図、岩稜歩きに参加者 20 人。冬山に向けて白坂でアイゼントレ。

（司会から今は YMAP などのアプリが普及しているが地図とコンパスはどこまで必要かと問題提起あり）

＜伏見＞：アプリで登山コースはわかっても現在地の把握が出来ていない。谷と尾根から現在地を把握する。それが理解できて初めてアプリで確認する。それが出来なければ無意味と思う。

スマホばかり見ていると不安が先にたつて地形を見ていない。

現在地がわからなければ遭難だ。

各会には読図のプロフェッショナルがいるが、そこから広がらないのが課題だ。YAMAP の利点は位置が特定出来ること。その勉強会も必要だ。

<洛中>：実際の山で地図とコンパスは使っていないスマホで見ているのが現状。

使いこなせるように学習会をもっとやるべきだ。

<乙訓>：YAMAP は山行計画を作るのにとても役立つ。計画作るのが苦手な人には是非やり方をマスターしてほしい。

それと、山の気象に役立つのが WINDY だ。詳しくデータが発表されて会員に好評。学習会はサプリメントの使い方、テーピングのやり方を公民館借りてやっている。

参加者は20～30人。

ZOOM でやると、声が聞こえづらいなど参加者に不満が多い。

<やましな>：体験会で一回だけ経験するだけでは身につかない。

救急法とロープワークは使えなかったら意味ないのでしっかり身につくまで徹底してやる。

岩場でやる未熟なロープワークはかえって危ない。

<西山>：会を始めた人、中心でやっている人たちは若い時から継続してやっている。今入ってくる人たちは定年なったから、子育てが一段落した人たちが入会してくるので体力もないし、基礎知識もないので山登りの基本が理解がしづらい。

そこを考慮して教育を考える必要がある。

60歳で入会した人にいきなりアルプスは無理。段階を踏んでやってもらう。コンパスの使い方がわからない人にはYAMAPを使う。始点と終点わかっている

地形を見て現場で実際を知って説明する。講師には失敗を例に多く話してもらう。

なぜ、この地で会を作ったか。大阪や滋賀の人には現地の会を勧める。

入ってきた人には西山とはどういう会かを詳しく説明する。

<右京>：各会で独自で学習会をしているが、連盟から講師を派遣することについてはどうか。

会員数が少ない会では講師が確保出来ないこともある。

<洛中>：初級修了生が中心になって新入会員になっている。

その人たちが山好きになって積極的に山へ行くようになった。

六甲全山縦走を5、6人で実行している。

ベテランが退会するようなことになってきて会の将来を心配している。

<亀岡>会員から古くなった炊飯器の内釜を使ってクマ除けの鐘をつくっていて、行者山、朝日山、地藏山、三郎ヶ岳、神明峠など48カ所に設置している。

<クマスプレーについて>

<洛中>：実際に現場で使えるか。雲ノ平の山小屋で誤って噴射して事故になったケースもある。取り扱いに気をつけること。新幹線の中で誤って噴射したというニュースもあった。

<左京>：クマスプレーは高いがホーンは3,080円で804m届くものがある。

『テーマ2：会員拡大について』

<伏見>：子育てが終わった女性会員の入会者が増えている。

ホームページを見て入ってくる人が多い。それとインスタの閲覧者も多い。

<山城>：会員の年齢層が高いので会のホームページは作っていない。平均年齢70歳以上。インスタなどSNSを立ち上げて会員拡大につなげたい。

今年は木曽駒にいった。

<右京>：ホームページ改定して写真を多く載せるようにしている。しかし入会に結びつかない。

山行案内を京都新聞に掲載しているが、若年層は入ってこない。

新聞に「70歳以上不可」の年齢制限したら、応募者ゼロだった。

若年層はそもそも新聞を取らない。

声をかける人が70代では来る人も70代だ。

<乙訓>：年齢の近い人が声をかけるのが入って気安い。

YAMAPの使い方について。

ホームページの虫眼鏡マークからコミュニティーを開いて「乙訓」と検索するとコメントでやりとり出来る項目が出てくる。西山もやっている。堅い文章は避けて平易な言葉でやり取りするよう心がける。閲覧者とやりとり出来るので質問にも応えられるので入会につながりやすい。いろんな人が来るので対処は必要になる。遠隔地の入会希望者は丁重に断る。

＜福知山＞：公開ハイクで立山に行った。

北部地域でフリーペーパーの新聞があるので会で作ったチラシを入れて知らせている。

＜洛中＞：愛宕山駐車場の金網に公開登山教室のポスターを 1 ヶ月間貼らせてもらっている。

それと SNS に動画を投稿して案内している。

名詞の裏に QR コード載せて活用している。会紹介の動画を作っている。

＜伏見＞：会員同士の交流をかねて会員の店でおしゃべりカフェを開き、女性会員だけの懇談会をやっている

＜労山について、会員にどう説明しているか＞

＜伏見＞：新入会員説明会を 2 年に一回程度開催して、会の沿革と共に労山の趣意書についても説明している。

＜西山＞：入会時に一応説明しているが、どこまで理解しているのかまではわからない。

＜明峰＞：登山教室では労山の説明はしていない。

＜左京＞：現在会員数 21 人。ホームページも更新はしていない。

組織的な活動が出来ていない。平均年齢 70 歳と高齢化していて活動が停滞している。

＜西山＞：正会員と会友の 2 制度をとっている。

会員に 10 年以上在籍、60 歳越えて入会した人は 5 年で会友資格を有する。正会員 150 人。会友 25 人。

会友は登山しなくても趣味などで年会費安くして会とつながっている。

＜亀岡＞：80 歳代後半でアルプス登りたい人にはどう対処すべきか。そういう人はとめられない。

＜やましな＞；若い人でも体力ない人はいるし高齢者でも元気な人はいる。

＜福知山＞：紙媒体は郵送料が高くなったのでラインで閲覧するようにしたら見ている人が減った。他はどうしているか。

＜伏見＞：紙で作ることは金額だけで見てはいけない。

紙で印刷することでたくさんの人がかかわっている。

そのつながりを見ることが必要だ。

＜亀岡＞：私はパソコンを自由に使える訳ではない。

一方会誌は全て綴じて保管している。何度も見返すので紙は大事な財産だ。

＜田辺＞：紙を全て PDF 化した。

紙でみたい人はコンビニで印刷することを推奨している。

＜乙訓＞：紙と PDF を併用している。紙派と PDF 派の意見論争はずっと続いている。

＜洛中＞：紙が面倒だというなら、昔は手刷りでやっていた。

みんなで苦労しながら協力してやったので連帯感も生まれた。

やり方が簡便になれば我々の意識も強まるかどうかが心配だ。

＜この後午後からは研修会 19 名とハイキング参加者 90 名と合流して体育館で全体集会＞

1. ハイキング委員会からハイキングリーダー学校の報告

登りは重心移動、300～350m/h がきつさを感じなく登れるペース。下山時の事故の 70%が転倒によるもの。足置きを丁寧におこなうこと、小股・膝をクッションとして使うこと。

転ばないではなく、転んでも大丈夫な体作りのトレーニングが大切。

上下の坂道や階段上り下り、定期的な低山歩きや隙間時間でトレーニングをすること。

2. 初級登山学校の報告

今年度で 16 回目になるが、当初から目的の変更はしていない。

- ① 安全登山思想・基礎的登山技術を普及出来るリーダーの養成②
無雪期 3000m 級の縦走リーダーの養成。今期から 65 歳以下、
登山歴を受講資格に追加した。

3. ヒヤリハットの報告

2025 年 4 月から 9 月で 25 件の報告あり

下りで疲労が蓄積している時、足首を曲げて着地できない。

筋力・基礎体力の向上につとめ、下りでも疲れないペースを登りから心がける。

*最後にらくなん山の会・奥西さん（78 歳）から登山寿命を延ばすための日頃のトレーニングについて講演がありました。

歩荷トレに 30 k g を担ぐこともある。日常的にトレーニングを継続することが大切と強調されました。

コツは生活の中にトレーニングを工夫して組み込むこと。

目標は余裕を持った登山を可能にすることだが、その先に介護を必要としない人生を見越していると話されました。

70 歳を越えてから剣岳のしかも北方稜線、73 歳で槍ヶ岳の北鎌尾根などバリエーションルートを踏破する体力はこうした日常のトレーニングに裏打ちされたものでした。
(高野)

(研修会)



(クマよけの鐘)



(奥西さんの講演)



第12回実行委員会(京都労山60周年記念事業) 記録 平尾
2025年11月19日(水) pm7時30分~8時30分 (リモート専用) 敬称略
参加者: 宮内(田辺)、沖(山城)、岩根(左京)、花折(明峯)、野原(WAO)、
岩井(伏見)、金山(福知山)、西村、坪山、高野、平尾(連盟)/11人

<今回の内容>

1 2025 交流会について反省、感想

- ・参加者は全体で119名、深山90名
- ・深山ハイキングは、天気もよくいい山でよかったとの感想が多く寄せられた。会毎のパーティ中心だったので他会の人と交流が図れなかったのが残念との声があった。
- ・研修集会は、応急手当・ロープワークなど身につくまで徹底した教育をしている会を知りよかった。少人数の会ではできていないことがあるが、いろいろ知り一つずつすすめていきたい。いろいろ情報が得られよかった。少人数で各会の話ができた。亀岡のクマよけのとりくみ紹介が聞けてよかった。
- ・全体交流、いろいろな話が聞けて良かった。初級登山学校が同一テーマで継続して実施されてきたことを知ったり、奥西さんのトレーニングの話が参考になり、さっそくトレに励む会員もでるなど世代間の交流になった。
- ・交流会のはじめに、研修集会の内容の報告があればよかった。
- ・バスが手配できてよかった
- ・日帰りでは物足りなかった、さらに工夫が必要。

2 実行委員長の選出

- ・次回には決めたい。庶務的なことは西村が行うのでぜひ立候補をお願いしたい

3 記念事業のテーマ

- ・「交流—各会、世代間での経験、技術の継承」とすることを再確認した。
- ・2026 年秋に予定の「2026 交流会」を活動の中心に展開する。田辺、らくなん、山城が担当。

4 会員数 1,000 人を目指す

- ・目標とするか検討をした

- ・全国登山研究集会での会員拡大のとりくみ報告が紹介された
- ・山には若い人がたくさんいて対象者は多い。その要求は何か（安全登山の知識・技術を身につけたい、よりレベルの高い山行がしたい等）それに応えないと入ってこない。宣伝媒体を若い人が見ている新しいものにしていく
- ・入ってからのフォローをしっかりとっているのが、増やしている会の教訓
- ・成功例、失敗例に学び、取り組みを見直して今から準備して60周年にむけ会員を増やしていけば1,000人の花は咲かせられる

5 記念誌を2027年3月に発行する。

- ・担当が決まっているので進めていく 10年間のまとめや記念行事の報告が中心

6 会員全員に渡す記念品の検討

- ・これまでの論議では、必要、不必要と意見が分かれていたが、全員に記念となるものを渡す方向でどうかと提起があった。
- ・何かいいか、千人程に渡すとなると費用面で制約もある
- ・よい安価なものがあるか次回までに考えてくる。

7 大文字山登山道整備の取り組みについて

- ・何回か現地の作業に参加し、メジャーなルートでない、リスクもかなりあるのではないかと、記念行事としてやるのは難しいのではないかと提起があった。
(候補に挙がっていたB尾根はほぼ終わっている？10人×10日の作業)
- ・北部からの参加は難しい、60周年のテーマにてらしどうなのか、交流の方法は他にもあるのではないかと技術継承のほうで交流を深められるのではないかと
- ・まず、記念行事として登山道整備をするかどうかを決めることが先決、場所はその次、するとすれば一過性に終わらせず継続することが必要。
- ・次回(12/6)大文字山へ行って、相談してみる

8 交流会の日程を早く決めておいた方が、各会の予定も立てやすいという要望が出された

11月7日(土)・8日(日)か14日(土)・15日(日)あたりで、次回に決める方向

次回 12月17日(水) PM7時半から WEB会議

<コースタイム> 上り 1h10(2h)/下り 59(1h35)/計 2h11(3h35)

<まとめ・報告>

31日(土) 大股登山口～峠登山口～釈迦ヶ岳

11:44 伯母子岳山行を終え大股登山口P発。ナビはR168からの林道を示さず、天川村～R309を行者還トンネルを抜けてR169～前鬼からのルートを示す。県道733～734へナビを無視して「十津川」の道路標識を頼りに行く。車1台が何とか通れる狭い道をやっとR168へ出たが新しく出来たトンネルを潜って直ぐに右折して左へ回り込む様になっていて迷う。旭キャンプ場～旭ダムを過ぎ細い溪谷沿いの道を行く。数台下山してきた車とどうにかすれ違える程の狭い道。

13:58 峠登山口着。20台分程のスペースは路駐する車もあり混雑していたが、幸い先程の数台が帰った後に停められた。地図には無いがトイレがあったので途中にあった不動小屋登山口よりは便利そう。軽く昼食を摂り登りのエネルギーを補給する。

14:10 峠登山口発。少し急で細いが登り易い道。今から山頂往復で何とか暗くなる17時には下山しなければと急いで登る。

14:32 不動小屋登山口からのコースとの合流点。ここからは雑木がまばらに生えた笹原の小さなピークを幾つか登り下りし乍らの尾根道。遠くに大峰山脈の山々を眺め乍らの気持ちの良い稜線歩き。伯母子岳山頂で誰かが教えてくれた尖った山が見える。左肩に緑色の小屋が見える。大峰奥駈道の深仙宿小屋なら釈迦ヶ岳の右側にある筈だが…。尖った山は大日岳らしい。次々下山して来る10人以上の人達とすれ違おうが、皆一様に「これから登るの?」と聞く。ともあれ下りの時間を考え15:30に行ける所まで行き無理なら引き返すと決めて続行する。



15:05 千丈平。いつの間にか古田の森を過ぎたらしい。ここから山頂へは25分とある。何とか行けそう。水場へ下りて水を飲み一息つく。こういう山中に水場があるのは有難い。



15:15 分岐。正面が釈迦ヶ岳、南にある尖った山はやはり大日岳と判明。

15:20 釈迦ヶ岳(1799m)登頂。大きな釈迦像が建っている。3人休憩している。深仙宿小屋泊らしい。1人は行者還岳から来た若者。ガスが出て来たので急いで下山する。



15:25 分岐発。千丈平にはベンチで囲まれたキャンプファイヤースペースがあり、直ぐ下に深仙宿への巻道の標識があった。この辺りまで下るとガスが晴れて大峰山脈の山々や高野山方面の山々が夕映えする景色に見とれ乍ら歩く。何か黒い物が動いたと思ったら鹿の親子だった。登りに気付かずに通ってしまった古田の森のピークを踏む。ルートから少し外れた小高い所だった。尾根出合を過ぎた所でやっと2人抜く。登りですれ違った人達だ。



16:21 峠登山口P着。暗くなる前に下山出来た。Pには同じ色のモビロオが1台残るだけ。トイレを済ませシャツを着替えて靴を履き替える時右脹脛が攣る。流石に足が疲れている。

16:31 峠登山口発～下る途中で夕映えの山々を写すべく何度も停車。17時過ぎには暗くなる。

18:28 天川YH着。既に真っ暗。月や星が出ている。

18:40～夕食。ビールは置いてないので近くの自販機で買う。ともあれ無事釈迦ヶ岳に登り下山出来た。明日は登山祭典の下見で俱留尊山に登る為曾爾抗原に現地集合の予定。ゆっくり休んで疲れを取る。

この後釈迦ヶ岳には大峰奥駈道縦走でもう1度登る事になる。吉野山～熊野本宮への順峰を3回に分けて2011年4月28日～5月1日の行者還トンネルから玉置神社迄縦走した時。この時はまだ登山道に雪が残っていてルートが隠れ苦労したので思い出す。2度目は逆峰を熊野本宮から吉野山へ向かう予定で行ったが、この時は途中行仙宿～深仙宿で雨に降られ疲労困憊し、深仙宿から巻道を通り峠下山口へ下りたものの携帯の電波が通じずタクシーが呼べない。仕方なく歩いていると写真を撮りに来てたまたま通りかかった五條の青年の車に載せて貰え、その上有難い事に吉野迄送って貰えた。地獄に仏とは正にこの事だ。

1月号案内 表紙の写真

屋根谷 克己 さん（らくなん山の会）

エビネ

かなり前なんですけど溪流釣りに行ってよく見つけました。比良山系、久多、鈴鹿山系の谷です。今ではほとんど見なくなりました。絶滅危惧種です。

*今年の夏は異常に長く、10月になっても暑さが続きました。月半ばになってようやく暑さも和らいできたかと思うと秋もつかの間一気に寒さがやってきました。

日本の四季が二季に・・・なんてことも言われます。

地球の長い歴史で見ると数万年から数百万年で温暖期と氷河期を繰り返してきました。楕円を描く地球の公転軌道や地軸の傾きといったわずかな軌道変化によるもので太陽から受け取るエネルギーが変化するから。それも木星や金星、特に火星の重力の影響が大きいようです。

現在は寒冷化に向かっているはずの地球がメタンやCO₂などの温室効果ガスの増加によって温暖化が進んでいる。人類に迫られた宿題か。



<お知らせ>

表紙のイラストや写真を提供ください

労山会員の方やお知り合いで連載を引き受けてくださる方をご紹介ください。例えば「野鳥に詳しい方」「高山植物、野草に詳しい方」「コケやきのこに詳しい方など会員みなさんに知識を広めてくださる方を募っています

【投稿先】 京都府勤労者山岳連盟 機関誌委員会 高野 寛

メールアドレス hirossan-1954@nifty.com

*原稿サイズ B5版 1行約36字 1頁約36行

*字体 MS明朝体 11P 余白上、左、右各20mm 下23mm

2026年 京都府連盟 月間予定表

1 月（霜月・NOV）		
1	木	元日
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	自然保護委員会
6	火	事務局長会議
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	冬山勉強会・冬山テント泊と歩行訓練
12	月	成人の日 冬山テント泊と歩行訓練
13	火	常任理事会
14	水	
15	木	
16	金	やまびこ利用日
17	土	大文字山登山道整備
18	日	
19	月	常任理事会 京都労山印刷 (ハイキング委員会) (遭難対策委員会)
20	火	教育委員会
21	水	創立 60 周年実行委員会
22	木	冬山勉強会 机上 冬山での確保法
23	金	
24	土	
25	日	積雪期搬出技術講習会
26	月	常任理事会
27	火	気象勉強会
28	水	女性委員会
29	木	
30	金	
31	土	

2 月（如月・FEB）		
1	日	
2	月	自然保護委員会
3	火	事務局長会議
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	冬山勉強会 冬山テント泊・経ヶ岳
8	日	冬山勉強会 冬山テント泊・経ヶ岳
9	月	常任理事会
10	火	
11	水	建国記念の日
12	水	冬山勉強会 コンパニオンレスキュー
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	京都労山印刷 ハイキング委員会 遭難対策委員会
17	火	教育委員会
18	水	60 周年実行委員会
19	木	
20	金	やまびこ利用日
21	土	大文字山登山道整備 雪山ピークハント 木曽駒ヶ岳
22	日	雪山ピークハント 木曽駒ヶ岳
23	月	天皇誕生日 雪山ピークハント 木曽駒ヶ岳
24	火	常任理事会 気象勉強会
水	水	女性委員会
26	木	
27	金	
28	土	